

中国新聞 [暮らしの情報誌]

いいこと
しんぶん
ちゅうごく
しんぶん



にくすに

10・11

2014 vol.248

第1特集

ふるさと うまい酒とおもてなし
探検発見 ほとばしる情熱

西条

第2特集

仲間づくり! 健康増進に! やってみよう
ニュースポーツ



 中国新聞



第2特集

やってみよう

仲間づくりに! 健康増進に!

「ニュースポーツ」

近年、家族や仲間と一緒に楽しめる生涯スポーツとして注目され、体験する機会も増えています。スポーツを楽しむのにちょうどいい季節。みなさんも挑戦してみませんか。

パンフレットや専門書、雑誌など、スポーツに関する情報が自由に見られる「スポーツ情報センター」で貸し出しする施設を紹介し、新たなスポーツを始めた人と新しい仲間を求める人との橋渡しをしてく



な道具を必要とする種目は、地域で貸し出しする施設を紹介し、新たなスポーツを始めた人と新しい仲間を求める人との橋渡しをしてく

「ニュースポーツを始めたけれど、どうしたらいいの?」という人は、広島県立体育館の地下1階にある「スポーツ情報センター」を訪ねてみましょう。ここには広島県内全

あなたのまちのニュースポーツ情報を教えます

れます。

スタッフの野地明夫さん(47)は「スポーツを通じて人とのつながりが生まれ、友人と一緒にプレーできる楽しさが生きがいにもなります。少しでも挑戦したい気持ちがあったら、諦めないで気軽ににご相談ください」と呼び掛けます。



スポーツ情報センター
広島市中区基町4-1 広島県立体育館
地下1階 ☎082-228-4979
開館時間/10:00~19:00

勝敗や記録を競う「競技スポーツ」とは違い、健康・体力づくり、仲間との交流、気晴らしを重視したスポーツ種目。子どもから高齢者まで、スポーツ経験がない人でも気軽に始められるように基本動作やルールが工夫されています。

ニュースポーツってなに?

どが知られていますが、その数は100種類を超えます。

今回は、ルールや用具がユニークなことから愛好者が増えていて、各地に指導者がいる4種目を紹介します。



巨大ボールを「キンボール」 打つ&受ける

チームプレーの楽しさを教えてくれる

「キンボール」の「キン」は、英語の「キネシス(運動感覚)」の略。直径122センチ、約1キログラムのアドバランの

ようなボールを使い、ヒット(サーブ)とレシーブ(キャッチ)を繰り返して得点する競技で、カナダ人の体育教



大人も子ども一緒になって巨大ボールを追っかけ、夢中に



打つ前にはキャッチするチームカラーをコール。大きい声でないと失格に！

「飛んできたボールを受け止めるにはチームメイトとの協力が必要。コート走り回って汗をかき、楽しさを分かち合いましょ」と日本キンボールスポーツ連盟・指導員の辻貴雄さん(44)。香川県支部の理事長として活躍してきた辻さん。昨年、広島市へ転勤してきたのをきっかけに広島県内にもキンボールを広めようと奮闘中。声がかかれば、どこへでも指導に出向きます。その一つが、毎月1回、府中町立府中中央小



「3チームが同時に
対戦する球技は珍しい」と語る辻さん



ピンク・黒・グレーの
三色のベストを着用
してプレーします



「親子で楽しんでいます」と
いう呉婆々宇スポーツクラブ
のみなさん

ちょっとルール解説

ピンク、グレー、ブラックの3チーム各4人が最小13×16mのコートに入る。ヒット(サーブ)権を得たチームの3人がボールを支え、残りの1人が「オムニキン」と言って、相手チームのどちらかの色をコールした後、ボールをコート内に水平から上に打つ。コールされたチームがレシーブし、落としたり他の2チームが得点。10分間を3試合し、得点の多いチームが勝ち。

問い合わせ

☎090-9153-5129 (キンボールスポーツ連盟・辻さん)

☎082-510-4166 (呉婆々宇スポーツクラブ)

学校体育館で行っている呉婆々宇スポーツクラブのみなさんの練習。熱い思いを持った指導者の出現で、キンボールの人気は高まりそうです。12月21日には「広島県キンボール親子大会」、来春には「指導者講習会」の開催を予定しています。